

平成21年度 土木学会 関東支部 栃木会 活動報告

『土木の日の集い』

「土木の日」は現在の土木学会の前身にあたる工学会の創立日である明治12年11月18日、また、「土木」の文字を分解すると「土=十一」、「木=十八」となることにちなみ定められたもので、この日にあわせて土木のイメージアップと理解を深めていただくことを目的として、全国各地で様々なイベントが実施されております。本県においても栃木県魅力ある建設事業推進協議会（CCIとちぎ）、土木学会関東支部栃木会の共催で「土木の日の集い」を行っており、平成21年度は以下のようなテーマ・内容にて開催いたしました。

【概要】

共催団体：栃木県魅力ある建設事業推進協議会（CCIとちぎ）
参加者：230名
日時：平成21年11月27日（金）13:00～15:10
場所：ホテルニューイタヤ 3F 天平の間

【プログラム】

1. 開会
2. 主催者あいさつ CCIとちぎ会長 池田 猛（栃木県土木整備部長）
3. 選奨土木遺産認定授賞式 旧須花隧道（栃木県佐野市～足利市）
4. 基調講演 「社会資本整備の意義と重要性を考える」
財団法人ダム水源地環境整備センター 技術参与 高橋 定雄
5. 閉会



平成21年度 選奨土木遺産

『旧須花隧道』認定授賞式を行いました。

1 土木学会選奨土木遺産の趣旨及び内容

土木学会では、土木遺産の顕彰を通じて歴史的土木建造物の保存に資することを目的として、土木学会選奨土木遺産の認定制度を平成12年度に設立しました。
選考方法は、土木学会選奨土木遺産選考委員会により、「日本の近代土木遺産—現存する重要な土木建造物2800選」（土木史研究委員会編、土木学会発行）のリストを中心に技術的・デザインの優れたものやエピソードが豊富な建造物などを「選奨土木遺産」として認定表彰しています。
今年度、本県からは佐野市と足利市とを結ぶ一般国道飛騨足利線の須花坂に、並んで位置している3本の隧道の内、初代と二代目の隧道が認定されました。



2 「旧須花隧道」の概要

- ①所在地：栃木県佐野市～足利市
- ②竣工年：（初代）1889（明治22）年
（二代目）1917（大正6）年
- ③構造形式等：（初代）素掘り 117m
（二代目）煉瓦造
側壁：イギリス積、
アーチ部：長手積
石ポータル（地元産御影石）、81.9m
- ④管理者：（初代）地権者、佐野市史跡
（平成6年に旧田沼町が指定）
（二代目）栃木県



3 認定理由

栃木県佐野市と足利市とを結ぶ一般国道飛騨足利線の須花坂に、3本の隧道が並んで位置しています。初代隧道は地元の有志らが寄付金を募り明治14年に着工し、竣工まで8年の歳月を要しましたが、最後まで残ったのは田島茂平ただ一人でした。工事は人力だけで行われ、内部にはその痕跡が残っています。



【初代】

二代目隧道は、大正6年に栃木県が煉瓦巻隧道として築造しました。側壁はイギリス積・アーチ部は長手積で組成されており、組成文様を彩るグラデーションは積み重ねられた歳月の長さを物語っています。また、昭和54年にRC造の現道が竣工し、初代・二代目の隧道は現在使用されていません。



【二代目】

これらの隧道は、明治・大正・昭和とそれぞれ時代を隔てて築造されたもので、隧道の構造仕様の流れを知る上で貴重であります。

初代の隧道は、地域開発に身を投じた先人の偉業を後世に伝えるなど、地域史学習の教材として貴重であり、二代目隧道は、栃木県の道路用隧道としては現存する唯一の煉瓦巻隧道でもあります。地元では、初代および二代目隧道を地域づくりに活用したいという機運もあり、今回選奨土木遺産に認定は、その大きな弾みになると考えられます。

基調講演 | 社会資本整備の意義と重要性を考える

高橋 定雄氏
（財団法人ダム水源地環境整備センター 技術参与）

- ① 公共投資額は本当に過大なのか？
- ② 無駄な公共投資が多いという批判
- ③ 公共事業の役割は、インフラ整備にとどまらない
- ④ 豊かな未来を切り開くために！



『エクスカージョン』

～匠とめぐる新たな日光～

- 1 目的
一般者へ社会資本の役割と必要性を広く周知することを目的とする。
- 2 実施概要
1) 開催日 平成21年9月12日（土）
出発 9:00 東武日光駅
見学施設 神橋、日光総合支所、男体地区砂防事業、華厳の滝（崩壊対策事業）、大谷川砂防事業
解散 17:00 東武日光駅
2) 参加者 35名
3) 実施方法
エクスカージョン形式による現場見学会
エクスカージョン（Excursion）とは遠征という意味で、現地踏査を重視する学問分野を指す。地域の自然と人の関係を、社会基盤を中心に再発見することにより、単なる観光ではなく、総合的に地域をみること。
4) ポイント
土木技術の最先端と、土木史的視点を持ちながら、社会資本と自然・社会条件の関係を学び、その役割・必要性を広く周知することを主とし、実際に現場に係わった技術者や管理者が説明、質疑応答をすることで、より実感のある現場見学とする。



◎主催者挨拶抜粋

エクスカージョンとは、地域の歴史や自然・文化を基軸として、地域と人との関わりについて学ぶことに重点をおいたプログラムです。したがって、これまでの観光や現地視察とはちょっと異なり、気候・地形また地域の成り立ちや文化・景観の創造など、現地各施設の担当者からの丁寧なレクチャーにより、新たな視点から地域を理解するとともに、地域の魅力を再発見することができると思います。また、日光は、世界遺産やラムサール条約登録地として豊かな地域資源に恵まれた地域です。この豊かな歴史・自然の創造とさらに保全には、様々な工夫を凝らした人の手（土木技術）が大きく関わっています。ともすれば、土木技術は自然破壊の元凶のように捉われがちですが、日光という地域ならではの、環境・景観等の保全に即した土木技術の叡智・精華を是非知って頂きたいと思っております。秋の初めの一、野の風に包まれながら、本日のエクスカージョンを通して、新たな日光の魅力を探ってみましょう。



▲日本工業経済新聞(9/15)



▲広報用ポスター

『総合学習支援』

1. 事業概要
総合学習等への支援活動では、「土木」を身近に感じてもらう取り組みとして、教育の一環として実施されている「総合学習」等へ講師を派遣するなどの活動を行っております。今年度は、「コンクリートのおはなし」などを4回実施しました。（これまでの実績：平成17年度2回、平成18年度8回、平成19年度9回、平成20年度10回）

2. 総合学習支援の実績一覧表

回数	日時	学校名	人数
第1回	平成21年6月4日	鹿沼市立津田小学校	60名
第2回	平成21年7月2日	日光市立落合東小学校	40名
第3回	平成21年10月1日	日光市立落合東小学校	40名
第4回	平成21年10月16日	鹿沼市立津田小学校	60名

授業風景



『第27回研究発表会』

1. 目的
県内の土木技術の発展と向上を目指し学・官にわたる幅広い分野での土木交流を図るとともに、建設技術者の資質向上を図りプレゼンテーション能力の研鑽の場として研究発表会を開催しました。
2. 開催の状況
（1）開催日時：平成22年3月5日（金） 9時30分～17時00分
（2）開催場所：栃木県総合文化センターサブホール
（3）主催者：栃木県建設技術協会、土木学会関東支部栃木会
（4）入場者数：約300名
3. 研究発表内容
土木技術の向上に関する調査、研究、事例の発表を産業界関係者から5件、学校関係者から3件、官庁関係者から6件の計14件の発表を行いました。厳正な審査の結果、次の各賞が発表者に授与されました。
（ベストプレゼンテーション賞）
『下水処理施設が有するエネルギーの活用に関する一考察』
財団法人栃木県建設総合技術センター 石原 卓也



石原卓也氏の発表

表彰式

- （優秀賞）
『菊沢川改修計画について』
栃木県佐野土木事務所 木下 雄一朗
『那須高原地域におけるパーク&バスライド社会実験について』
栃木県大田土木事務所 中島 寿幸
- （特別奨励賞）
『環境紙芝居のデジタル化による配布の試み』
宇都宮工業高等学校 猿山 佳伸・中田 徹・小坂 徹也
『材料的・構造的見地によるコンクリートカマの製作』
宇都宮大学 長澤 和彦

（奨励賞）

- 『歩行者・自転車安全・安心して通行できる通学路の改善策について』
県南歩道研究会・栃木県宇都宮土木事務所 荒畑 元就
- 『鳥類保全対策とその検証結果—うつつのみや文化の森公園の事例—』
株式会社ダイミツ 小村 優子
- 『自動車利用抑制を目指した心理的方略に関する研究』
宇都宮大学 泉 達也・野村 貴宏
- 『地域に愛される建設業を目指して！！』
中村土建株式会社 村野 聡紀
- 『主要地方道宇都宮郡那須山線「高瀬トンネル（仮称）建設工事」における地山挙動解析（事例紹介）』
栃木県山土木事務所 齋藤 勇作
- 『佐野市総合交通体系調査（総合交通マスタープラン）』
佐野市都市計画課 岡部 悦郎
- 『北関東自動車道 切土のり面におけるトップリング変状とその対策』
東日本高速道路株式会社宇都宮工事事務所 玉澤 隆
- 『北関東自動車道 トンネル覆工に中流動コンクリートを用いた施工について』
東日本高速道路株式会社宇都宮工事事務所 鈴木 孝
- 『国道121号平ヶ崎アンダー 冠水から学ぶこと』
栃木県日光土木事務所 加藤 丈弘
- また、栃木県土木整備部から次の取り組みについて発表がありました。
『技術公務員のあり方研究会～新しい時代に求められるもの～』
技術公務員のあり方研究会ワーキンググループ

4. 文化講演会

ひとまちくらし研究所代表 兼 特定非営利活動法人足利まちづくりセンター VAN-NOOGA会長の中川三郎様をお招きして『土木とまちづくり』と題した講演を頂きました。



ひとまちくらし研究所代表 中川氏の講演

『技術講習会』

『技術士を志す方への情報提供講座』

【概要】
共催団体：社団法人日本技術士会、栃木県技術士会
参加者：31名
日時：平成21年6月17日（水）
18:00～20:30
場所：「栃木県総合文化センター」第2会議室

- 【プログラム】
1. 開会挨拶 栃木県技術士会 会長 田中喜一郎（技術士：農業部門）
2. 受験体験談
平沢 健次（一次試験合格：建設部門）
吉岡 雅也（二次試験合格：建設部門）
菅野 勉（二次試験合格：農業部門）
稲葉 茂（二次試験合格：総合技術監理部門）
3. フリーターキング（質疑応答）
足利工業大学 教授 末武 義崇
（土木学会関東支部栃木会学術研究部会長）
4. 閉会挨拶 宇都宮大学 教授 藤原 浩巳
（土木学会関東支部栃木会幹事長）



『技術講習会』



- 【概要】
参加者：110名
日時：平成22年1月14日（木）
13:30～17:00
場所：栃木県自治会館 4階403会議室
- 【プログラム】
1. 開会挨拶
足利工業大学 教授 末武 義崇
（土木学会関東支部栃木会学術研究部会長）
2. 技術講習会
『最近の豪雨災害から学ぶこれからの地域防災』
群馬大学 教授 片田 敏孝
『集中豪雨の発生構造と地球温暖化の影響』
宇都宮大学 助教 鈴木 善晴
- 司会進行：足利工業大学 教授 末武 義崇
（土木学会関東支部栃木会学術研究部会長）